



校内研修だより

富岡市立富岡中学校
No.1
発行日 2024/4/30
発行者 校内研修主任

共によりよい未来を創る生徒の育成
～「創造的な対話」のある授業改善と生徒指導を通してエージェンシーを高める～

第1回校内研修まとめ—先生方と「創造的な対話」を通して考えた目指す生徒像

4月22日の校内研修では大変お世話になりました。「目指す生徒像」という答えのない問いに、先生方が真摯に向き合い、議論していただいたことに感謝申し上げます。生徒の実態をふまえ、学校教育目標の生徒像を語り合ったこの研修は、まさに「創造的な対話」でした。以下に先生方と決めた目指す生徒像を載せます。これで方向性は決まりました。あとは、その目標に向かってチーム富中でよりよい教育を行っていきましょう！

共によりよい未来を創る生徒	
【知】主体的に考え学び合う生徒	・「わからない」を言える ・友達の「わからない」を教えられる
【徳】互いに支え合い高め合う生徒	・他者のことを考えて想像力を働かせる
【体】しなやかでたくましい心と体をもつ生徒	・毎日元気に挨拶できる ・自分の悩みや不安を相談できる
【志】志をもち夢や目標の実現に向け努力する生徒	・目標を決められる ・目標に向かって今やるべきことに取り組める

💡 対話的な学びが成功する要因

この研修では、「創造的な対話」を行うヒントがつかまっていたように思えます。先生方も日々の授業の中で対話的な学びを取り入れることがあると思います。実は、対話的な学びが成功する要因と失敗する要因は、先行研究でまとめられています。今後の「創造的な対話」のある授業づくりの際の参考にしていただくと幸いです。



対話的な学びが成功する要因	
1 誰もが自分の考えをもって対話に臨める工夫	<input type="checkbox"/> 十分な準備の時間 <input type="checkbox"/> 学習が苦手な生徒でも参加できる課題設定
2 考えを出し合える関係	<input type="checkbox"/> 誰とでも会話ができる <input type="checkbox"/> 対話的な学びを繰り返し行い、対話に参加することの意味やよさを実感している
3 全員の考えが話し合いの場で共有される工夫	<input type="checkbox"/> ICT や付箋等の活用
4 話し合いの場で思考が活発に働く工夫	<input type="checkbox"/> 対話する必要がある課題設定 (例 自分たちの考えを互いに比べ合い、評価したり関連付けたりすることが必要な課題)
5 話し合った後の工夫	<input type="checkbox"/> 対話をふまえてあらためて自分の考えを整理 <input type="checkbox"/> 対話を振り返ってよかった点や課題を評価

対話的な学びが失敗する要因

- 一人一人が自分の考えをもてないままに集まる
- 「話し合っても無駄」「一人で取り組む方がいい」という発想をもってしまっている
- 一人一人の取組が評価されない
- 共通の話題だけで、個人の学びの深まりがない

<連絡>

代表授業者の候補を学年で決め、5月7日までに報告をお願いします。

その後、教科等の状況を推進委員会で協議し、決定します。



共によりよい未来を創る生徒の育成

「創造的な対話」のある授業と生徒指導を通してエージェンシーを高める

